

2012 年 国 際 大 会 選 出 役 員

国際会長	Wayne A. Madden (米国・インディアナ州)
国際第一副会長	Barry J. Palmer (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)
国際第二副会長	Joseph Preston (米国・アリゾナ州)
国 際 理 事	
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (2 名改選)	Sangeeta Jatia (インド) Sunil Kumar R. (インド)
オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島(1名改選)	Sheryl May Jensen (ニュージーランド)
ヨーロッパ(3 名改選)	Benedict Ancar (ルーマニア) Kalle Elster (エストニア) Leif Åke "Kenneth" Persson (スウェーデン)
東洋東南アジア(3 名改選)	Dr. Ichiro Takehisa ^{たけひさ いちろう} 〔武久 一郎〕 (日本) Dr. Tae-Young Kim (韓国) Jui-Tai Chang (台湾)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコおよびカリブ海諸島(1 名改選)	Jaime Garcia Cepeda (コロンビア)
アメリカ合衆国およびその領域、バーミューダおよびバハマ (7 名改選)	Stephen Michael Glass (米国・ウェストバージニア州) Judy Hankom (米国・アイオワ州) John A. Harper (米国・ワイオミング州) Stacey W. Jones (米国・フロリダ州) Donal W. Knipp (米国・ミズーリ州) Dr. H. Hauser Weiler (米国・バージニア州) Harvey F. Whitley (米国・ノースカロライナ州)



別紙 2

公式通達 2012 年国際大会 韓国・釜山

以下の国際付則改正案が
2012 年国際大会において提出され、代議員の票決を受けます。
本改正案の可決には過半数の賛成投票が必要です。

第 1 項: 会員の義務、並びに権利と特権を示す表を国際付則より取り除く決議案。本決議案の可決に伴い、これらの表は理事会方針書の会員種別の項目に移される。

下記の決議案を承認すべきか？

国際付則第 11 条第 7 項の第 1 段落第 3 文を全文削除し、以下と差し替えることにより改正する。

それぞれの種別は、国際理事会の方針に従って定められる権利、特権、義務を有する。

更に、国際付則第 11 条第 7 項を、47 ページに示される「義務」の表、並びに 48 ページに示される「権利と特権」の表を削除することにより改正する。

ウェイン A. マデン
国際会長

米国インディアナ州オーバーンのウェイン・マデン氏が2012年6月22日から26日にかけて韓国・釜山で開催された第95回国際大会でライオンズクラブ国際協会の国際会長として選出された。

マデン会長は、保険代理業者であり、公認保険顧問でもある。

1984年以来オーバーン・ライオンズクラブの会員であるマデン会長は、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、協議会議長、地区ガバナーなど数多くの役職を歴任してきた。インディアナ州ライオンズ財団の元会長でもある。地区ガバナーエレクト・セミナーではグループリーダーを5回、視力ファースト・キャンペーンIIでは25複合地区のセクター・コーディネーターを務めた経験もある。

国際協会への貢献が認められ、これまでに100%クラブ会長賞、終身会員、シニアマスター・キー賞、エクステンション賞4回、国際会長リーダーシップ・メダル、国際会長賞9回、さらには国際協会より会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞を含む数多くの賞を受賞。マデン会長はチャーター W.P. ウッズ・フェロー、ケンタッキー・カーネル、ヘレン・ケラー・フェロー、累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

2008年には人道奉仕に対する貢献が認められ、インディアナ州知事より同州最高位の栄誉である名誉市民賞を授かった。

ライオンとしての活動に加え、マデン会長は専門分野と地域社会のさまざまな団体で活躍してきた。

累進メルビン・ジョーンズ・フェローであるリンダ夫人とのあいだには2人の娘と5人の孫がいる。